

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

設立 昭和32年3月23日
RI承認 昭和32年4月15日
会長 宮内 榮
副会長 信太 秀紀
幹事 宮内 秀章
会計 金子 芳則

2013-2014年度 RIテーマ
「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES
2013-2014 RI会長 ロンD.バートン



例会日時 毎週水曜 12:30～
例会場 銚子商工会館5F大会議室
事務所 銚子市三軒町19-4
銚子商工会館内
電話 0479-25-3111(会館)
0479-23-0750(専用)
FAX 0479-25-8789
E-mail rotary@choshinet.or.jp
URL http://www.tcs-net.ne.jp/~crc

第2796号(2014年3月5日発行)

今週のプログラム

メンバー「仕事」について語る 第1弾

高瀬 幸雄 会員

櫻井 公恵 会員

前回の例会報告(2月26日)

点鐘:宮内 榮 会長

ロータリーソング:

四つのテスト



会長挨拶



皆さんこんにちは。先週22～23日幕張セミナーハウスで行われたRYLAセミナーに高瀬会員が高校生 飯田佳奈さん、飯田想さんと参加してき

ました。ご苦労様でした。2月23日はロータリーの誕生日です。1905年2月23日4名で始まったロータリーは現在200以上の国と120万人の会員を擁する組織となりました。平和の祭典冬季オリンピックも日本人選手の大活躍で終了しました。メダル獲得数は、長野に次いで2番でしたが、私はメダルの数だけではない様な気がいたします。問題は、その内容にあると思います。浅田真央選手はショートで今までに無い大失敗をして、次のフリーまで1日の間、何を考えていたのか心配でした。日本の大相撲ならば怪我で休場というところです。

私も昔剣道をしておりましたが、個人の競技は誰も助けてくれません。自分だけが頼りです。良く心が折れないでフリーでは自己最高の点で演技を終わりました。これぞスポーツマンシップです。浅田真央選手の心の強さとファイティングスピリットに金賞を。韓国では、キム・ヨナ選手の銀メダルに不服で、署名活動を行い150万人以上集まったと報道されております。これにはキム・ヨナ選手も当惑しているようです。

又1000メートル女子ショートトラックでも中国選手に対して韓国民の物議が報道されています。スポーツマンシップは何処にいったしまった



第2790地区
ガバナー 関口徳雄 (浦安RC)

会報委員
石毛 充、丸山泰典、堀米秀和、越川信一

のか。審判の判定最終結果には潔く従う。シドニーオリンピックでは、柔道の篠原選手がフランスの選手に敗れ銀メダルと成りました。誰が見ても篠原選手が勝っていたと思います。世界中の人が見ていたわけです。彼は審判の判定に潔く従ったのであります。これぞスポーツマンシップであります。国と国とが争う為に行われるのではないのであります。プロボクシングの選手でさえ、15ラウンド戦い、血だらけになり顔は変形するほどですが最後は判定に文句を言わず、お互いに握手しそして抱き合いお互いの健闘を称えあっています。争うと競うを勘違いしているように思います。あらゆるスポーツが平和と親睦の為に行われるのであります。

お客様



千葉科学大学ローターアクトクラブ

会長 見田光昭様
副会長 岡山美千様
幹事 鈴木優介様



銚子東RC 平野恭男様

会員の記念日

☆☆☆☆入会記念日おめでとうございます☆☆☆☆

伊藤浩一 会員(2月23日)

☆☆☆☆結婚記念日おめでとうございます☆☆☆☆

小田島國博 会員(2月21日)

幹事報告

【週報拝受】鹿島臨海RC

1.国際奉仕委員会Newsletter第6号(2月-3月号)

以上、ガバナー事務所

2.2013年手続要覧 拝受

.....国際ロータリー日本事務局

3.2014年ロータリー国際大会の委任状について

.....国際ロータリーデータ

4.仮委嘱状送付のご案内

.....ガバナーエレクト 宇佐見透様

5.JENESYS2.0及び北米地域との青少年交流

ASEAN及び近隣諸国からの短期招聘事業グループ訪日団(インドネシア大学生)との懇親会開催について

.....千葉科学大学

6.平成26年春の全国交通安全運動実施計画説明会の開催について

.....銚子市交通安全都市推進協議会

【例会変更】

旭RC...3月28日(金)夜間移動例会

黄鶴 点鐘6時30分

仮委嘱状伝達式

2014-15年度

地区奉仕プロジェクト委員会

国際奉仕委員会 委員

高木浩一 会員



委員会報告



「交換留学生の受け入れについて」

青少年委員会 高瀬 幸雄 委員長

平成26年2月24日、交換留学生の相手国が決定しました。カナダ国 ブリティッシュ コロンビア州の Andrew Scott DAVEY 君です。当クラブ推薦の飯田佳奈さん(県立銚子高校)の行先もカナダに内定しました。最初のホームステイ先の決定が最優先事項になっています。会員の皆様のご協力をお願いします。協力が可能な会員は、私の方に一報下さい。

ニコニコBOX



ニコニコBOXの紹介

親睦活動委員会

櫻井 公恵 会員

✪金島 弘 会員✪

先週米山奨学生呉宏霞さんの卓話ありがとうございました。先日銚子東RCで私の趣味「錦鯉に恋して」と題して卓話させて頂きました。

卓話



「I・M参加して」

宮内 秀章 幹事

今年のIMは、先週の2月16日 日曜日 旭市の黄鶴で行われました。

午後13:30に椎名ガバナー補佐の点鐘で始まり、宇佐見ガバナーエレクトの基調講演、各クラブの意見発表、次年度役員紹介、そして懇親会という流れで進みました。その中で印象に残りました宇佐見ガバナーエレクトのお話と、銚子クラブの意見発表についてお話しさせていただきます。

まず初めに宇佐見ガバナーエレクトのお話ですが、自分の故郷のことから国際協議会等のお話しをされましたが、やはり職業奉仕のお話しが印象に残りました。三方よしという近江商人の言葉を例えてお話しされたのですが、内容は現在の株式会社三愛、リコーの創業者でもあります市村清さんのお話でした。市村さんは「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という三愛主義をかかげ、当時三愛商事を設立し、銀座4丁目の交差点、今の三愛ビルがあるところで食料品店の計画をしていたそうです。

しかし、その土地は皇后様の足袋を御用達している老舗の足袋屋があり、土地の所有者である老未亡人 原田せいさんは「先祖代々の土地を売るわけにはいかない」の一点張りで、土地を手放そうともしませんでした。それでも諦めない市村さん

は、大雪の日 世田谷に住むおばあさんの家に訪ねますが会おうともしてくれませんでした。

ところが翌日の午後、浅草の市村さんのところにおばあさんが1人で訪ねてきました。雪道を歩いて来たおばあさんの足袋はびしょ濡れで、着物の袖まで泥水が跳ね上がっていました。おばあさんの足元を見た女性従業員はすぐさま足袋を脱がせ自分のスリッパを履かせ足袋を洗い、ストーブで温めました。そして抱きかかえるように社長室におばあさんを連れていきました。社長室に入ったおばあさんは今までとは違い、表情が明るくなりました。そして「市村さん、実は今日はお断りするつもりで参ったのですが、たった今階段を上がってくる間に気が変わりました。このような会社に譲るのでしたら先祖も喜ぶでしょう。無条件でお譲りします。」と言ったそうです。女性従業員の温かい心遣いがおばあさんの心を打ったのでしょうか。

まさに、アーサー・フレデリック・シェルドンが言う職業奉仕理念、「自らが儲ける為に職業についているのではなく、その職業の相手方の満足を最優先にし、自らの職業を通じて他人に奉仕する」ということに通ずるものがありとても感動しました。

この三方よしという 売り手よし、買い手よし、世間よしとは本当に理想の形だと思います。しかし現在の社会においてはこれから逆に難しくなっていくのではないかと私は思っております。なぜかと申し上げますと、現代はメール、ファックス、携帯電話等 様々な便利な物があります。人と人がふれあう人対人ではなく人対機械になってきているのではないのでしょうか。私が個人的に考えますのは、顔を合わせて相対で話し、コミュニケーションをとって、信頼が出来たうえにその三方が築かれていくのではないかと考えます。私もこれからアナログ的なことも大切に取組んでみたいと思います。

もう1つ、職業奉仕についての話しで気になったのが、職業奉仕という刀を簡単に抜くと、鞘に簡単に納めることは出来ないという話しでした。これについてIMが終わってからも先輩方から色々な意見を聞きましたが、とにかく難しい問題ですので、来年ちょうど私は職業奉仕委員長を務めさせていただきますので来年の課題にしたいと思います。

次に各クラブの代表が、テーマ「会員増強について」・「例会の重要性」の2つについて発表しました。銚子クラブからは田中英子会員増強委員長、信太秀紀クラブ奉仕委員長でした。

田中英子会員増強委員長の内容は、会員一人ひとりの心配りとフットワークの良さが退会防止と会員増強への大きな後押しになることは間違いありません。

本年度、残り4カ月余りとなりましたが、新入会員に近い入会3年目の私だからこそ出来る心配りを忘れずに、結果、数字となって現れるよう努めていきたいということで、女性ならではの意気込みを感じた内容でした。

続いて、例会の重要性として信太秀紀クラブ奉仕委員長の発表ですが、昨年のフィリピン支援を通してのお話しをされました。どれだけのロータリアンがライラに参加したことがあるでしょうか?とれだけのロータリアンが国際奉仕の現場に立っているのでしょうか?これからのロータリーはただ単に青少年の育成や国際奉仕にかかわっているというだけの形骸化した動きや、お金を出していればいいだけの考えは通用しないのではないのでしょうか?と会場の皆さんに問いかけた言葉は印象的でした。

まとめに、単にプログラムを提供するだけでなく、どれだけ現場で一緒に汗を流すかが重要なポイントだと思います。そしてその感動を例会で伝えあうことに例会の意義があるのではないかと熱弁されたのですが、まさにその勢いは、またギタ

一を取り出して歌い始めそうないきおいでした。しかし、さすが次年度会長らしい素晴らしい発表で、次年度は繊細かつ大胆にご活躍されることと感じました。

その後、次年度ガバナー補佐の当クラブ杉山会員の挨拶と第7分区次年度会長、幹事の紹介がありました。私も丁度1年前この会場で幹事として紹介されたんだなと思いだし、1年の早さを実感しながら懇親会と移りました。

最後に、今回のIMは宇佐見ガバナーエレクトの講演をはじめ、各クラブの意見発表、そして懇親会の盛り上がりで大変活気あるように感じました。そして来年度は銚子クラブがIMのホストクラブであります。このインターシティー・ミーティングという第7分区会員相互の研修と親睦を交えて、来年度はより一層活気ある銚子クラブらしいインターシティー・ミーティングを開催できるよう皆さんと考えていきたいと思えます。



石毛 充 会員

みなさん、こんにちは。宮内秀章幹事に引き継ぎまして、「IMに参加して」と題して私なりに感じたことを10分少々ご報告させていただきます。

今回のIMのテーマは「会員増強」「例会の重要性」ということで、各クラブの代表の方々が意見を発表されました。

私はこの機会に例会の重要性を考えてみました。ロータリー活動はまず例会に出席することから、と言われております。例会の出席はロータリークラブ会員の大切な義務です。

私は入会してから4年が経ちましたが、入会したての頃は知っている方もおらず、戸惑うことばかりでしたので、水曜日が近付くと気が重くなっておりました。自分がどうふるまったらよいのか分からず、居場所が無いようにも感じていました。ですが、そう言ってばかりもいられません。親睦委員になりましたことをはじめとして、与えられた仕事は何でも一生懸命がんばろう、なんでも気持ちよく「はい」と返事をして活動しよう、と努力してまいりました。そのおかげで少しずつ会話も増え、会員の皆様に声をかけていただけるようになりました。趣味の話や、休日の過ごし方など、たあいのないお話をしていただけるようになり、本当に嬉しく思いました。こうした会話ができるようになり、心が近くなったのが感じられます。親睦委員会活動の中では打ち合わせなどの際にお酒を飲む機会もあり、だんだんと打ち解けられるようになり、例会に参加することも苦痛でなくなり「やっと本当に仲間入りできたかな」と思えるようになってきた今日この頃です。

先日このような話を伺いました。

「100杯のコーヒーより1杯の酒」

緊張の中で100杯のコーヒーを飲むより、1杯のお酒で心朗らかに楽しく過ごすことができたなら、より深くより近くコミュニケーションを取ることができ、親しみを感じることができるということです。まさにその通りだと痛感しました。

また、良好なコミュニケーションをとるには、良いあいさつをすることが大切だと思います。まず

は、自分から明るく元気にあいさつをすることが肝心です。元気パワーは相手に伝染しますね。

また、良いあいさつは人と人を結ぶ「金の鎖」であるとも言えるそうです。

あいさつの「挨拶」という字は押す、「拶」は「迫る」という意味で、「押し合いながら前に進む」ことを言います。互いに良いあいさつをすることで、朗らかで良い雰囲気を伝えあうことができます。せっかくあいさつするので、相手の心に触れられるよう気持ちの良いあいさつを交わしましょう。

また例会の場は、異なる職業の方々と食事をしながら意見交換や情報交換ができる大切な場でもあります。こうした場を経験することで相手への自然な気遣いや、会話を楽しみながら食事をすることもできるようになり、自分の成長にも繋がります。

ロータリークラブにはたくさんの大先輩が居られます。私も毎日たくさんの学びがあり、本当に良い経験をさせていただいております。経営の学びのみならず、人生を生きるという「生き様」を大先輩の方々に垣間見させていただき、自分もより高みを目指して生きようという気持ちになることができます。若輩者の私ですが、このような大先輩の方々とご一緒できることで、大きな世界を知ることができたような気がします。他ではできない素晴らしい経験であります。この気持ちをたくさんの方に知っていただき、参加いただくことで会員の増強と成り得るのではないかと私は考えます。

またIMの発表の中で「例会の場は人生の場」であるというお話がありました。私は「まさにそうだ」と思いました。

私は、前職はトラックのドライバーでしたが、今こうして素晴らしい皆様と一緒に活動することで、たくさんの学びと人生の豊かさを感じることができます。自分がより成長していける場をいただくことができ、深く感謝申し上げます。

今回こうして会員の皆様の前でお話させていた

だく期待をいただきましたことも、よい経験となっております。こうしたことは得意とはいえませんが、少しずつ努力し、前に進んでいこうと思います。

私としてはロータリークラブにようやく馴染んできたかなあ、という今の感想です。ですが、こうして少しずつ進歩し、ロータリークラブ内に自分の居場所がきちんと感じられるようになり心から嬉しく思っております。

週に一度の例会はたった一時間ですが、始まる前や終了後に先輩方のお仕事や趣味などの話や、ロータリー活動に対する考え方等を教えていただくことができます。私にとっての例会とは、仲間作りの場であり、より深く知りあう場です。この例会にきちんと参加してきたからこそ、今の私があるのだと思っております。

これからも、ロータリー活動の意義の素晴らしさや、入会することで感じることでできる達成感を熱く語り、会員を増強していきたいと思っております。

ご静聴ありがとうございました。

【出席報告】

会員総数 44名 出席計算 39名

出席：34名 欠席5名 出席率87.18%

欠席：青野君・有村君・神宮寺君

栢尾君・越川君

【M U】

2/22-23 RYLAセミナー 高瀬君

2/25 銚子東RC 金島君・杉山君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 4,000	計	¥463,001
スモールコイン	¥ 3,600	計	¥ 48,084
米山BOX	—	計	¥ 43,413
希望の風	—	計	¥215,500

次回のプログラム(3月12日)

「新入会員卓話」

伊東正博 会員

お弁当：桔梗屋(幕の内)